

令和6年8月7日豪雨 道路冠水痕跡箇所図 (東部土地区画整理事業区域内)



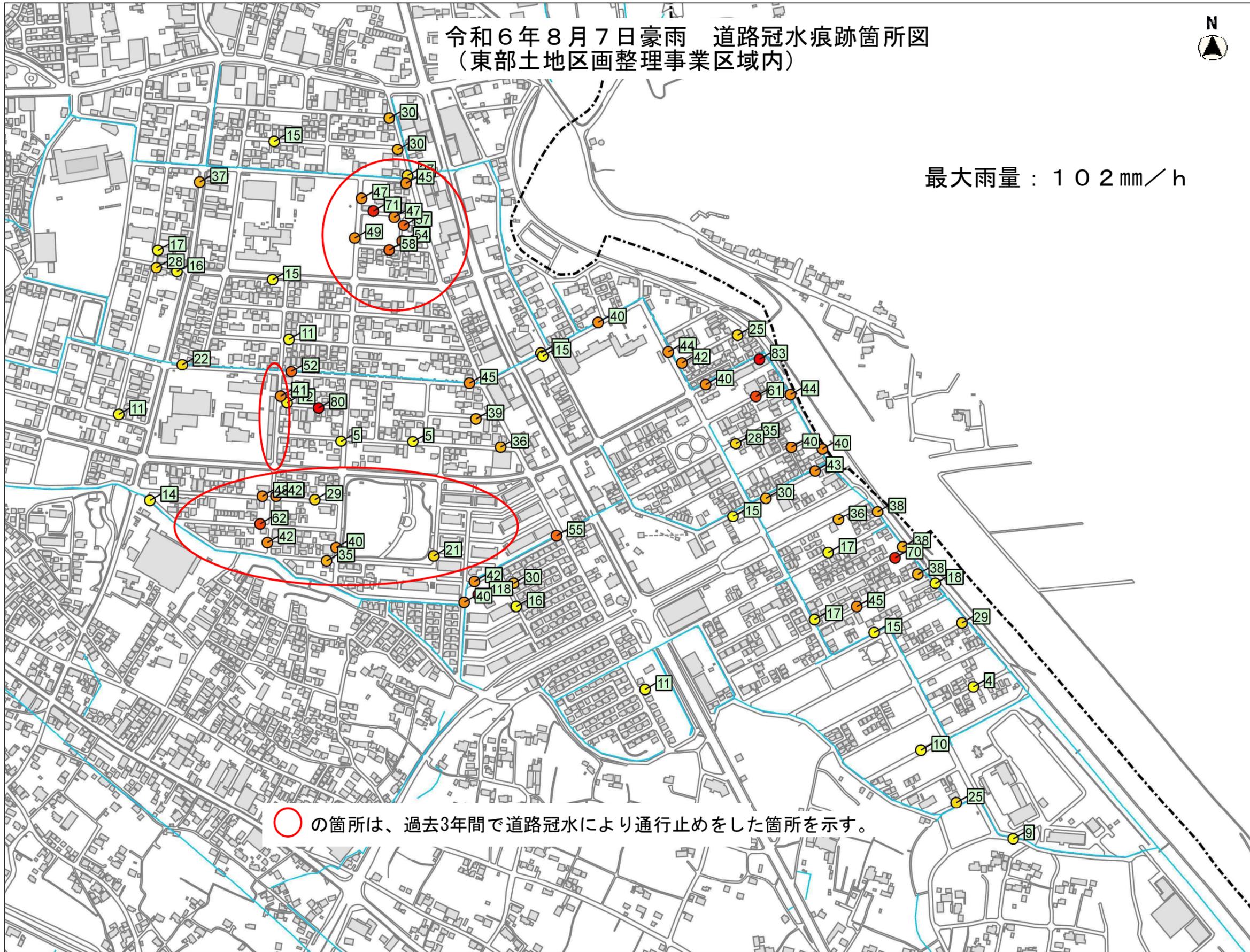
凡例

R080 豪雨道路冠水状況地点_20240814_1788

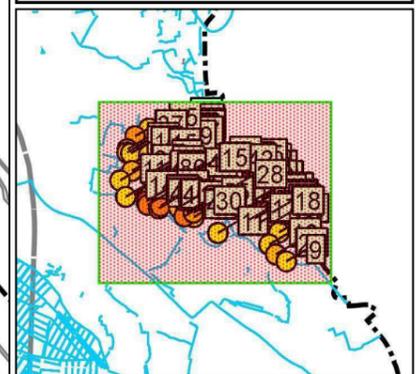
● 0 ~ 19	● 20 ~ 29
● 30 ~ 39	● 40 ~ 49
● 50 ~ 59	● 60 ~ 69
● 70 ~ 79	● 80 ~

河川_20240501_1788

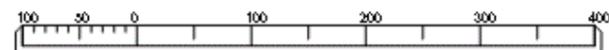
最大雨量 : 102mm/h



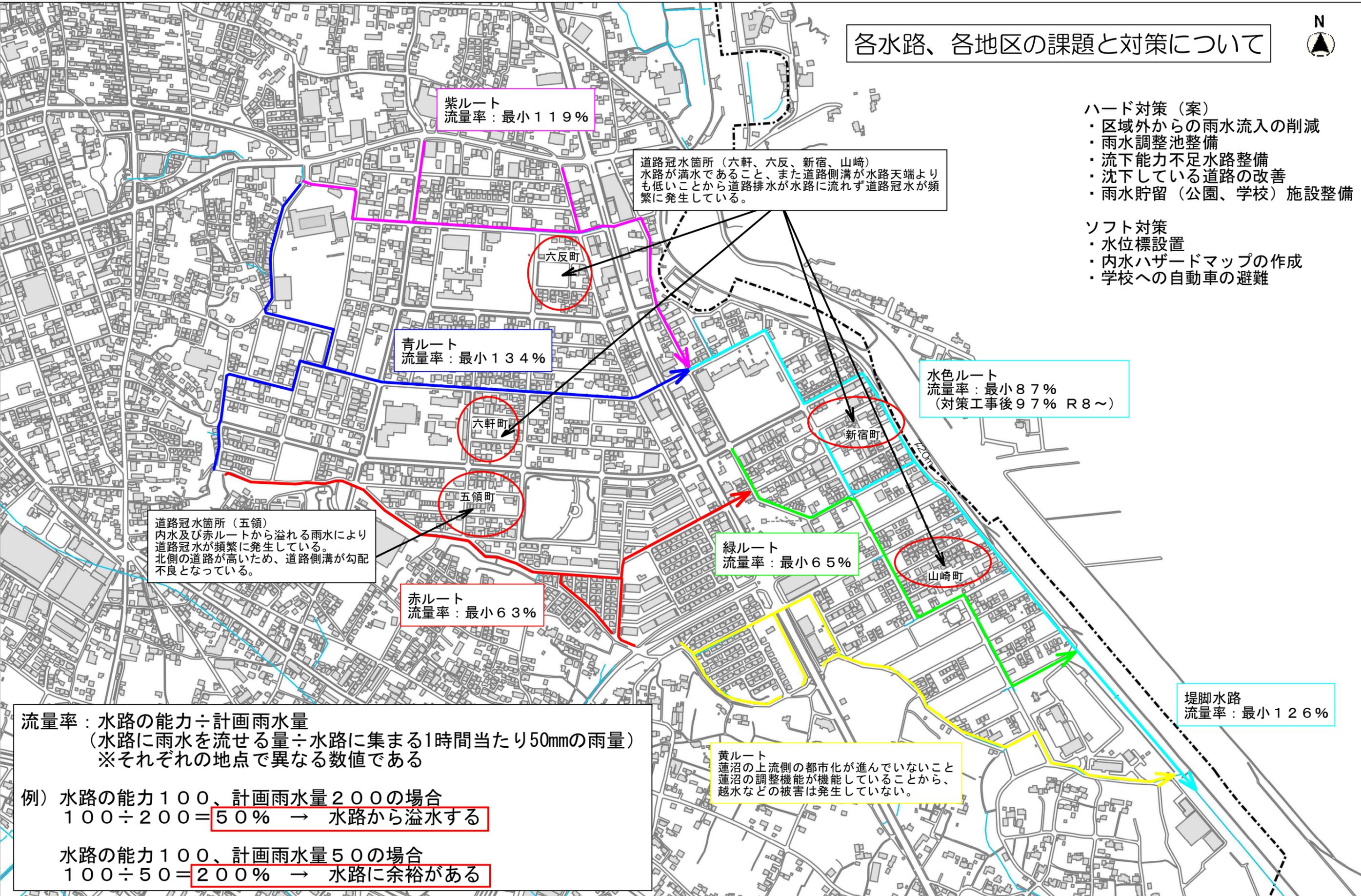
○ の箇所は、過去3年間で道路冠水により通行止めをした箇所を示す。



縮尺 1 : 6000



各水路、各地区の課題と対策について



- ハード対策 (案)**
- ・ 区域外からの雨水流入の削減
 - ・ 雨水調整池整備
 - ・ 流下能力不足水路整備
 - ・ 沈下している道路の改善
 - ・ 雨水貯留 (公園、学校) 施設整備
- ソフト対策**
- ・ 水位標設置
 - ・ 内水ハザードマップの作成
 - ・ 学校への自動車の避難

紫ルート
流量率：最小 119%

道路冠水箇所 (六軒、六反、新宿、山崎)
水路が満水であること、また道路側溝が水路天端よりも低いことから道路排水が水路に流れず道路冠水が頻繁に発生している。

六反町

青ルート
流量率：最小 134%

六軒町

水色ルート
流量率：最小 87%
(対策工事後 97% R8~)

新宿町

道路冠水箇所 (五領)
内水及び赤ルートから溢れる雨水により道路冠水が頻繁に発生している。北側の道路が高いため、道路側溝が勾配不良となっている。

五領町

緑ルート
流量率：最小 65%

山崎町

赤ルート
流量率：最小 63%

堤脚水路
流量率：最小 126%

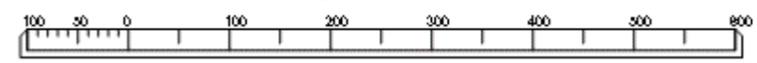
流量率：水路の能力 ÷ 計画雨水量
(水路に雨水を流せる量 ÷ 水路に集まる1時間当たり50mmの雨量)
※それぞれの地点で異なる数値である

例) 水路の能力 100、計画雨水量 200の場合
 $100 \div 200 = 50\%$ → 水路から溢水する

水路の能力 100、計画雨水量 50の場合
 $100 \div 50 = 200\%$ → 水路に余裕がある

黄ルート
蓮沼の上流側の都市化が進んでいないこと
蓮沼の調整機能が機能していることから、
越水などの被害は発生していない。

縮尺 1 : 7000



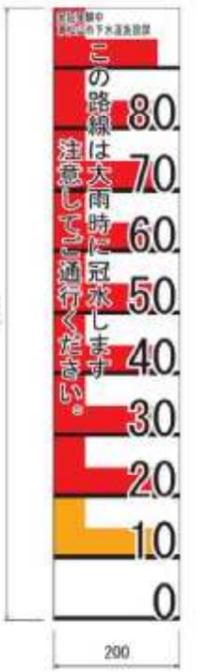
現在の取組みについて



《区域外雨水切り替え工事》



《水位標設置》



《水路内水道管撤去》



《水位観測カメラ設置》



《堤脚水路の測量実施》

→勾配、水路幅に雨水排水について問題ないことを確認した

縮尺 1 : 7000

